

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492600182	事業の開始年月日	平成21年5月1日	
		指定年月日	平成21年5月1日	
法人名	医療法人社団 愛友会			
事業所名	グループホーム ふじの			
所在地	( 252-0187 ) 神奈川県相模原市緑区名倉1196			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月4日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1492600182&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1492600182&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」をモットーに、一人ひとりのその人らしさを大切に生活を送っていただくために、常に利用者に敬意を持った接遇に努め、人権の尊重、機密保持の立場にたった介護を行っています。また、当ホームの理事長が各入居者様の主治医となることで、医療面において安心して生活を送っていただけるよう、支援をおこなっています。今夏はスプリンクラーの設置も行い、災害面に関しましても安心して生活していただけるよう取り組んでまいります。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾌｧｰｽﾄ 3階		
訪問調査日	平成22年11月22日	評価機関 評価決定日	平成23年1月17日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホームふじのは平成21年開設のまだ新しいホームで、JR藤野駅から徒歩10分程で豊かな自然に囲まれた場所にあります。居室からは相模湖を臨むことができます。今回が初めての外部評価の受審です。管理者以下職員は、利用者一人ひとりのペースを第一に考え、決められたスケジュールは作らず利用者の生活を支援しています。

<優れている点>  
運営法人の理事長がホームのかかりつけ医となるので、急変時はもちろんのことちょっとした心配事も24時間体制で対応可能が可能であり、適切な医療受診体制が整えられています。

開設からまだ1年半程ですが、地域と友好的な関係が築かれています。定期的にお隣の喫茶店でお茶を楽しんだり、近隣の農家の方々の協力を得て、栗拾いやサツマイモ掘りを行ったり、自治会の計らいでお正月の獅子舞や、お祭りの神輿がホームに立ち寄ってくれています。

<工夫している点>  
今夏スプリンクラーが設置されたこともあり、避難訓練を1回増やして3回行ない、災害時に備えています。

職員は決められた1時間の休憩のほかに午前と午後、5分程ですが、リフレッシュ休憩を取ることになっています。ほんの少しの時間でも気持ちの切り替えや水分補給ができ、利用者との関わりにもプラスの効果が出ています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ふじの
ユニット名	やまゆり(2F)

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」をモットーに、一人ひとりのその人らしさを送っていただくために、常に利用者に敬意の念を持った接遇に努め、人権の尊重、秘密保持の立場に立った介護を行っています。	ミーティング時などに、「利用者のペースに合わせて」と言うような理念に沿った確認を行ない、実践につなげています。しかしながら、職員の入職時に理念の説明は行なわれていないので、職員間の理解、共有にはやや不足感を感じます。	ホームの理念を職員全体で共有、確認するための仕組み作りを行ない、常に理念に立ち返りながらの支援に取り組まれることを期待します。
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お隣の喫茶店を定期的にご利用させていただいております。また、週に1度、ご利用者様とともに、近隣のスーパーへ食材の買い物のためご利用させて頂いております。	町内会には未加入ですが、地域の方々は友好的にホームと関わっています。お正月には獅子舞、お祭りにはお神輿がわざわざ立ち寄ってくれています。職員の採用も地元の方が多く、地域情報も得やすくなっています。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	10月20日に当事業所にて民生委員の見学会があります。グループホームと認知症に関する理解を深めていただこうと思っております。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	主に、活動状況の報告というかたちですが、今後、委員のメンバーの意見を取り入れられるような仕組みを構築していきたいと考えております。	会議は3ヶ月に1度のペースで行われています。ホームの活動内容を主に報告しています。地域包括支援センターの職員から地域の方にホームを知ってもらえるような取組みのアドバイスを受けています。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に参加し、地域の実情の把握に努めております。	「藤野地区を考える」地域ケア会議に参加し、参加者と交流、情報交換を行っています。この会議参加で新たに、民生委員が運営推進会議のメンバーに加わるきっかけになりました。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面を考慮し、玄関の施錠は行わせていただいておりますが、居室に鍵をかける、四肢を縛る等の身体拘束は行っておりません。	利用者の安全確保を最優先とし、やむおえず玄関を施錠しています。ベッドからの転倒防止にベッド下にマットレスを敷いたり、ベッドではなく布団で寝るようにしたりと、柵をしない工夫を行なっています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	事務所内に虐待防止に関する掲示物を提示させていただいております。また、入浴介助時、身体に異常（あざがないか）をチェックし、身体的虐待の早期発見に努めています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業、成年後見制度をご利用になられている利用者様がおります。勉強会の機会を持ち、制度についての理解を深めています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用契約の際は、ご利用者様とともにご家族様へ契約書、重要事項説明書をご確認いただきながらご説明をさせていただきます。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	3F玄関にご意見箱を設置させていただいておりますが、ご利用はありません。ご面会時、ご家族様と対話する機会をもち、事業所に関するご意見を伺えるよう心がけております。	居室担当の職員が利用者の様子を報告用紙に記入し、ホーム便りの「ふじの通信」と共に郵送しています。ご意見箱の設置、面会時の懇談など心がけていますが、今のところ運営に関する意見や要望はありません。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議、勉強会などを通じ、事業所内での課題や意見、提案などを各人が述べられる場を設けるようつとめています。	主任会議、フロア会議、勉強を兼ねた研修会などを実施し、意見や提案を出しやすい機会や場面をつくっています。洗濯物を干すベランダが北向きのため洗濯物が乾きにくいとの職員の意見からすぐに乾燥機が設置されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に一度の雇用契約更新時、職員の評価を行い、給与水準への反映がおこなわれています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	無資格で入職された職員の方に、ホームヘルパー2級の取得のための講習へ行っていただいております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他事業所の方を講師に招き、認知症の勉強会を開催しています。また、今後は地域の小規模多機能の事業所と交流を図れるよう取組みを行っていきたいと考えております。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用契約の前に、ご利用者様との面談、ご家族様との面談を持つようにし、情報収集に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	ご利用契約の前に、ご利用者様との面談、ご家族様との面談を持つようにし、情報収集に努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用契約の前の面談で得た情報を、フロア職員へ連絡ノート等を用いて伝達、また、必要に応じ、各フロア主任とサービス内容について協議をおこない、対応につとめています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「できること」はしていただくという姿勢でケアにあたるようつとめています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度、ご利用者様の担当職員から「一ヶ月の様子」をまとめたものを送付させて頂き、情報の共有に努めております。また、「ふじの通信」を隔月に作成、送付させていただき、活動状況をお知らせさせていただいております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望があるかたには、なじみのあるかたに電話などかけていただくよう支援をしています。	選挙に行きたいとの希望を受け、職員が付き添い投票所で1票を投じた利用者がいます。 家族の面会はもちろん利用者から電話をかけるなど支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	月に一度、季節に応じたイベントを開催しています。他ユニットと合同で行っています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、相談、支援に応じていきたいと考えています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ある程度、入所される前の暮らし方を尊重しているが、機能低下につながると思われることは改善しつつ、適切な対応を心がけています。	毎日利用者と接している職員は、利用者のちょっとした表情の変化やしぐさなどから、思いや意向をくみ取るよう努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	対話等を通じ、利用者様に伺ったり、ご家族様のご面会時、伺えることがあれば伺うようにしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のリズムを把握し、残存能力を活かせるよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎朝、カンファレンスを行い、利湯者様の状況に応じた対応、接遇等を検討しています。</p>	<p>毎朝のカンファレンス時の話し合いで利用者の状況の確認検討を行なっています。3ヶ月に1度介護計画の見直しを行ない、家族、職員などの意見、要望を取り入れ利用者一人ひとりに合った計画作成に努めています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌への記録、夜間帯は一時間おきの巡視を徹底しています。連絡ノートを用いて、引継ぎの漏れを防いでいます。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族、ご利用者様のご希望時、日用品の購入の支援をさせていただいております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>食材の購入は地域のスーパーを利用させていただいております。また、おおむね2ヶ月に一度、地域の理容師に来所していただき、ご利用者様のカットをさせていただいております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>理事長が主治医となることで、事業所との関係を築いています。週に一度の往診時には介護職員が一週間のご様子、体調をお伝えするよう支援しています。他科受診に関しては、利用者様、ご家族様に意向を確認し受診をさせていただいております。</p>	<p>法人理事長が主治医となっているため、24時間体制での対応が可能です。急変時はもちろんちょっとした心配事も相談、アドバイスを得られています。他医療機関受診の際、家族の状況に応じて職員が付き添うなど柔軟に対応しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様の身体に異常がある場合、看護師に連絡し、適切な指示を頂くようにしています。また、週に一度の訪問日には介護面での気づきをお伝えし、介護においてもアドバイスを頂けるようつとめています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時も定期的な面会を心がけております。ご家族様や関係者からの情報収集につとめ、早期退院に備え、訪問看護師、訪問医への情報提供をしていくよう努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に「重度化された場合等における対応にかかる指針」をご説明しております。また、重度化された場合、ご連絡を差し上げ、再度、事業所のできることをご説明し、意向のご確認をさせていただいております。	ホームの「利用者の急変時や重度化した場合における対応に係る指針」に基づき、説明、話し合っています。希望があれば、可能な限り看取りまで行なうことが指針に明記されています。今までに数名の看取りを行なっています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時は速やかに全身状態を確認、バイタルチェックを行い、看護師へ連絡し適切な対応をとるよう心がけています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の定期的な避難訓練を行っています。	今年は3回訓練を行なっています。消防署の協力のもと、通報訓練や介護度の重い方の避難のさせ方などアドバイスを受けています。昨年より訓練の回数を増やし、いざという時に備えています。	災害に備えて、水や食料、防災用品などの備蓄と、町内会との友好的な関係を活かし、災害時でも協力が得られるような働きかけを期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に介護職員は利用者様を目上の方であることを認識し、丁寧な言葉遣いを心がけ、一人一人にあった口調で対応しています。	利用者の人格を尊重した上で、一人ひとりに合った言葉かけをしています。また、家族の一員として一緒に生活する中で、親しき中にも礼儀ありの対応をすることを心掛けています。認知症介護のベテランの実践者を招き研修を行い学んでいます。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る範囲で耳を傾け、支援させていただいています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のご希望が機能低下に繋がらないようであれば、希望に沿って支援させていただいています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選ばれる利用者様には助言させていただいています。ひげそり（毎日）、爪きり（その都度）等おこなっています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、行える利用者様は少ないが、ランチョマット、箸の配膳、テーブル拭きなど手伝って下さいます。	毎週土曜日に利用者と共に地元の商店に食材の買出しに行ったり、利用者の声を聞きながら毎日の献立作りをしています。地元の職員宅で採れた新鮮な無農薬野菜を使い食事作りを行っています。また、季節ごとの行事食や外食も行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事チェック表に摂取量を記入しています。10時、15時に水分補給をおこなっており、お好みの飲み物をお入れしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>週に一度の訪問歯科があります（毎週金曜日）。ご自分でケアが可能な方もいますが、ご自分で出来ない方は、洗面台前へ誘導、一部介助をおこなっています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>可能な方は、トイレ誘導を行い対応しています。また、排尿のサインを見逃さないよう、努めております。</p>	<p>排泄記録により利用者ごとの排泄パターンを把握し、適宜、声掛けや誘導を行っています。支援の結果、オムツの使用量が減り使用しなくなったり、失禁が減り自立で出来るようになったりしています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>野菜中心の献立、また、適度に肉や魚を取り入れつくっています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日、入浴は可能ですが、一日おきに入浴される入所者様がほとんどです。</p>	<p>入浴の希望があれば、午前でも午後でも入浴することが出来ます。ドクターの指示やその日の体調によって入浴方法を変え、シャワー浴や清拭を行ったりしています。入浴を嫌がる人には声掛けの工夫をして誘導するようにしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室の温度設定を行い、又、寝具を日光消毒、シーツを定期的に洗濯し、清潔を保っています。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全て把握はできていないが、ある程度は理解。おくすりの説明書を活用し、理解できるよう努力をしています。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様のご要望にて、麦茶、お菓子をお出ししています。お花見に外食ドライブを行っています。			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春先には散歩に出かけ、花摘み、秋には地域のかたのご協力をいただきくり拾い、いもほりにいきます。	陽気の良い日には声掛けをして散歩に出るようにしています。利用者の外出希望には付き添いの支援をしています。月に1度はホームの隣にある喫茶店に出かけコーヒーやハーブティを楽しんだり、近所のスーパーへ買い物に出かけたりしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の同意を頂き、ご自分で管理が可能な方には持っていただくようにしております。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望に応じ、利用者様が望まれる時にかけて差し上げております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花などを職員がもってきてかざっております。	リビングや廊下には過度な飾り付けや装飾品がなく、照明も落ち着いた感じで全体がすっきりとしています。トイレや浴室は清潔に保たれ気になる臭いはありません。利用者は食事の後はソファなどでくつろぎ思い思いに過ごしています。	リビングにはもう少し潤いが必要と思われるので、季節感を取り入れる工夫をされることが期待されます。
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置。くつろぎながらTV鑑賞をされておられます。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、ご持参になられたなじみの物品を使用されています。	各居室のエアコン、クローゼット、ベッドはホームの備え付けになっています。利用者それぞれが馴染みの家具や小物、テレビなどを持ち込み、家族の写真を飾ったりして思い思いの過ごし方をしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレには手すりを設置、居室の電気には伸縮できる紐等をつけております。		

事業所名	グループホーム ふじの
ユニット名	あじさい(3F)

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」をモットーに、一人ひとりのその人らしさを送っていただくために、常に利用者に敬意の念を持った接遇に努め、人権の尊重、秘密保持の立場に立った介護を行っています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お隣の喫茶店を定期的にご利用させていただいております。また、週に1度、ご利用者様とともに、近隣のスーパーへ食材の買い物のためご利用させて頂いております。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	10月20日に当事業所にて民生委員の見学会があります。グループホームと認知症に関する理解を深めていただこうと思っております。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	主に、活動状況の報告というかたちですが、今後、委員のメンバーの意見を取り入れられるような仕組みを構築していきたいと考えております。		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターが開催する地域ケア会議に参加し、地域の実情の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全面を考慮し、玄関の施錠は行わせていただいておりますが、居室に鍵をかける、四肢を縛る等の身体拘束は行っておりません。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事務所内に虐待防止に関する掲示物を提示させていただいております。また、入浴介助時、身体に異常（あざがないか）をチェックし、身体的虐待の早期発見に努めています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業、成年後見制度をご利用になられている利用者様がおります。勉強会の機会を持ち、制度についての理解を深めています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご利用契約の際は、ご利用者様とともにご家族様へ契約書、重要事項説明書をご確認いただきながらご説明をさせていただいております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>3F玄関にご意見箱を設置させていただいておりますが、ご利用はありません。ご面会時、ご家族様と対話する機会をもち、事業所に関するご意見を伺えるよう心がけております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議、勉強会などを通じ、事業所内での課題や意見、提案などを各人が述べられる場を設けるようつとめています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に一度の雇用契約更新時、職員の評価を行い、給与水準への反映がおこなわれています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	無資格で入職された職員の方に、ホームヘルパー2級の取得のための講習へ行っていただいております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他事業所の方を講師に招き、認知症の勉強会を開催しています。また、今後は地域の小規模多機能の事業所と交流を図れるよう取り組みを行っていきたいと考えております。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用契約の前に、ご利用者様との面談、ご家族様との面談を持つようにし、情報収集に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用契約の前に、ご利用者様との面談、ご家族様との面談を持つようにし、情報収集に努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用契約の前の面談で得た情報を、フロア職員へ連絡ノート等を用いて伝達、また、必要に応じ、各フロア主任とサービス内容について協議をおこない、対応につとめています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事時、入浴時など、会話をし、生活を共にしているという関係の構築をしていく対応を心がけています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度、ご利用者様の担当職員から「一ヶ月の様子」をまとめたものを送付させて頂いております。ご面会の際には、ご家族様へ生活の様子をご報告させていただき、ご家族様からのご意見も伺い、情報の共有に努めております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望があるかたには、なじみのあるかたに電話などかけていただくよう支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	月に一度、季節に応じたイベントを開催しています。他ユニットと合同で行っています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、相談、支援に応じていきたいと考えています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご病気などでADLの低下がみられる方もおられますが、お一人おひとりの生活リズムに合わせた対応を心がけております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	対話等を通じ、利用者様に伺ったり、ご家族様のご面会時、伺えることがあれば伺うようにしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルサインのチェックを行い、特に体調面への注意を行い、支援を心がけています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎朝、カンファレンスを行い、利湯者様の状況に応じた対応、接遇等を検討しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌への記録、夜間帯は一時間おきの巡視を徹底しています。連絡ノートを用いて、引継ぎの漏れを防いでいます。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族、ご利用者様のご希望時、日用品の購入の支援をさせていただいております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>食材の購入は地域のスーパーを利用させていただいております。また、おおむね2ヶ月に一度、地域の理容師に来所していただき、ご利用者様のカットをさせていただいております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>理事長が主治医となることで、事業所との関係を築いています。週に一度の往診時には介護職員が一週間のご様子、体調をお伝えするよう支援しています。他科受診に関しては、利用者様、ご家族様に意向を確認し受診をさせていただいております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様の身体に異常がある場合、看護師に連絡し、適切な指示を頂くようにしています。また、週に一度の訪問日には介護面での気づきをお伝えし、介護においてもアドバイスを頂けるようつとめています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時も定期的な面会を心がけております。ご家族様や関係者からの情報収集につとめ、早期退院に備え、訪問看護師、訪問医への情報提供をしていくよう努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に「重度化された場合等における対応にかかる指針」をご説明しております。また、重度化された場合、ご連絡を差し上げ、再度、事業所のできることをご説明し、意向のご確認をさせていただいております。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時は速やかに全身状態を確認、バイタルチェックを行い、看護師へ連絡し適切な対応をとるよう心がけています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の定期的な避難訓練を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に介護職員は利用者様を目上の方であることを認識し、丁寧な言葉遣いを心がけ、一人一人にあった口調で対応しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る範囲で耳を傾け、支援させていただいています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り、ご利用者の要望に対応できるようにしております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の汚れがみられる際は、交換していただくよう支援をしています。また、ひげそり（毎日）、爪きり（その都度）等おこなっています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時の配膳、下膳をご利用様がすずんで行ってくださいます。また、食事の支度の際、イモ類の皮むきなど、行ってくださいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表に摂取量を記入しています。10時、15時に水分補給をおこなっており、お好みの飲み物をお入れしています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に一度の訪問歯科があります（毎週金曜日）。ご自分でケアが可能な方もいますが、ご自分で出来ない方は、洗面台前へ誘導、一部介助をおこなっています。夜間対は義歯の預かりをさせていただき方もいます。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な方は、トイレ誘導を行い対応しています。また、排尿のサインを見逃さないよう、努めております。また、リハビリパンツ内の汚れがないか、チェックも必要に応じ行わせていただいています。		
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜中心の献立、また、適度に肉や魚を取り入れつくっています。水分補給をしていただくよう促しを行い、毎朝、ラジオ体操を行っていただき、適度に身体を動かしていただくよう支援をしています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、入浴は可能です。バイタルサインのチェックを行い、入浴時の身体状況に配慮をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室の温度設定を行い、又、寝具を日光消毒、シーツを定期的に洗濯し、清潔を保っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全て把握はできていないが、ある程度は理解。おくすりの説明書を活用し、理解できるよう努力をしていきます。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様のご要望にて、麦茶、お菓子をお出ししています。お花見に外食ドライブを行っています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春先には散歩に出かけ、花摘み、秋には地域のかたのご協力をいただきくり拾い、いもほりにいきます。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の同意を頂き、ご自分で管理が可能な方には持っていただくようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望に応じ、利用者様が望まれる時にかけて差し上げております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花などを職員がもってきてかざっております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置。くつろぎながらTV鑑賞をされておられます。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、ご持参になられたなじみの物品を使用されています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレには手すりを設置、居室の電気には伸縮できる紐等をつけております。		

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 1月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの理念の職員間での理解、共有が不足している。理念の共有、確認するための仕組み作りが必要である。	『「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」』という、ホームのモットーを職員が理解する	『「ゆったり」「楽しく」「穏やかに」そして「いっしょに」』というホームのモットーを各ユニット玄関に掲示するとともに、職員入職時に説明を行う。また、ミーティング時などに「利用者のペースに合わせて」というモットーに沿った確認をひきつづき行っていく。	3ヶ月
2	35	災害に備えた備蓄用品が不足している。定期的な避難訓練は行っているが、今後、運営推進会議にて働きかけを行い、災害時、互いに協力を行っていく体制作りが必要である。	災害時、地域と協力を行っていく仕組み作りを行っていく。	非常持出袋を各ユニットに配備する。また、運営推進会議にて災害対策について検討を行い、定期的な避難訓練の際に、地域の方に参加していただくよう働きかけも行っていく。	12ヶ月
3	52	リビングがさっぱりとしているため、季節感をとりにいれた工夫が求められる。	季節感のある空間作りをする。	行事時にあわせ、その時期にあった置物等をフロアに配置する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。